

令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画（高等学校版マニフェスト）

学校番号	学 校 名
63-10	関市立関商工高等学校定時制

学校教育目標	「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を目指します。	
< 教育指導の重点 > 今年度の具体的な重点目標	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
<基礎学力の育成> 1 わかる授業、学ぶ楽しさを実感できる授業を推進して、基礎・基本的な学力の定着と、自ら学び自ら考える力の育成を目指します。	① 学習内容や到達目標を明確にし、生徒が主体的に参加する授業実践に努めます。 ② 学力レベルに合わせた習熟度別授業、日本語が不得意な生徒への配慮、専門科の実習における少人数指導を通して、基礎学力の定着と学習意欲の向上に努めます。 ③ 「学び直し」の機会を設け、義務教育段階の学習内容の確実な定着を図るように努めます。	① 生徒の授業に向かう態度を毎時確認し、授業評価やアンケート等で検証します。 ② 各種テストを実施し、基礎学力の向上ができたか検証します。 ③ 生徒の学力に応じた個別指導を実施し、学習内容の定着状況を検証し、指導法を改善します。
<健全な生徒の育成> 2 基本的な生活習慣の育成と、豊かな人間性と社会性の伸長に努めます。	① 欠席、遅刻、早退の防止と時間を守る指導に努めます。 ② 働き方改革を進めつつ、限られた時間の中で生徒一人一人を正しく深く理解し、信頼と愛情のある指導に努め、個々の生徒に応じた指導と助言を行います。 ③ 懇談会や教育相談の機会を有効性も考えつつ設定し、生徒一人ひとりの成長にあわせてアドバイスをを行い、信頼関係の構築に努めます。	① 欠席、遅刻、学籍異動を減らすことができたか。 ② シグマ検査、テストバッテリーM2プラス、迷惑調査の結果分析を行い、指導に生かします。 ③ 生活体験を発表する機会等を通じて、生徒が自己の生活を振り返り、将来の目標を語れるようになったか。
<社会人としての資質の育成> 3 早い段階から将来の自己の在り方・生き方を考え、主体的に進路を選択できる能力や態度を育成に努めます。	① 1年次からの組織的・計画的なキャリア教育を実施し、正しい勤労観・職業観を育成します。 ② 生徒一人一人の適性・希望等を把握し、ガイダンス機能の充実と進路決定がスムーズに行えるよう努めます。 ③ 各種団体との連携を強めて、本校の教育活動の理解と協力を深めます。勤労体験を通して、生徒の勤労観・職業観を育成します。また、大学訪問・企業訪問等を通して求められる人材像を集め、進路指導に活かします。	① 学年ごとに進路に関するホームルーム活動を実施し、将来の目標を語れるようになったか。 ② 生徒との話し合いや家庭との連絡を密にし、生徒の適性や希望を尊重することができたか。 ③ 進路先を開拓し、卒業時まで進路を決定することができたか。卒業生の就労状況で検証します。